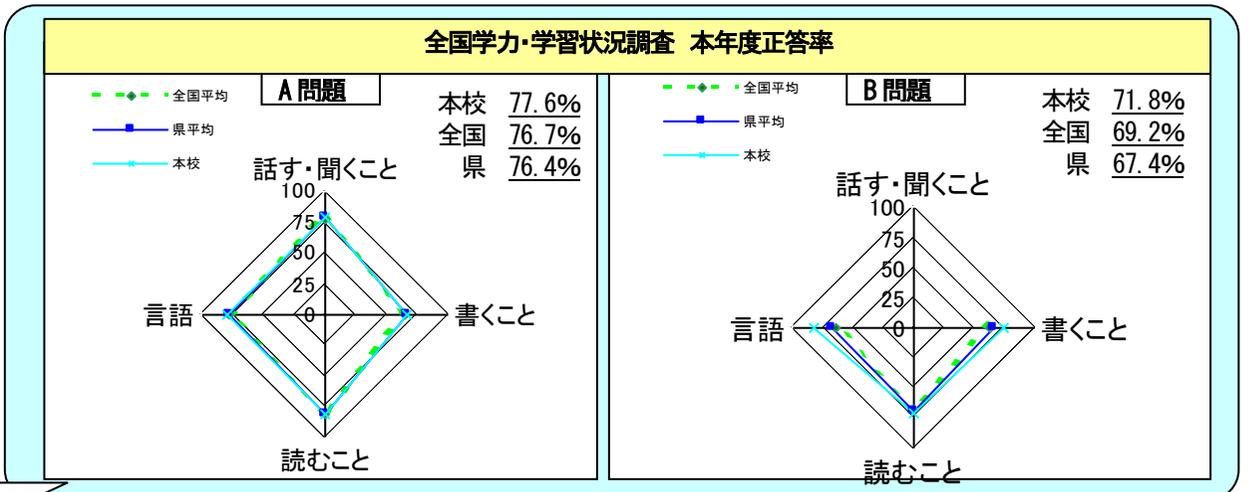
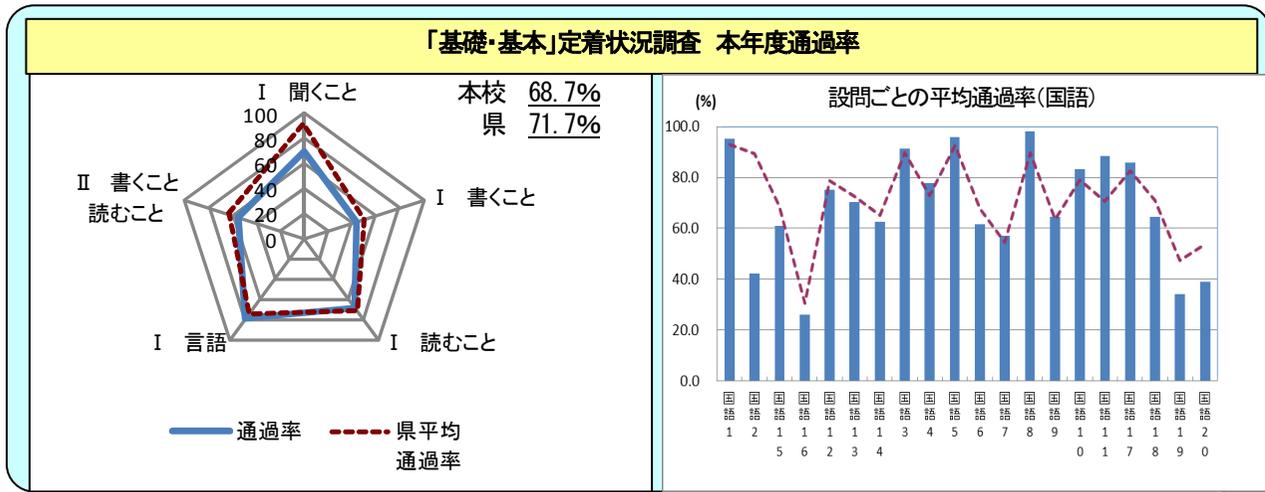


指導方法等の改善計画について〔国語〕

栗原 中学校



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎「書くこと」叙述の仕方の確認【四（２）】
 伝えたい事柄にふさわしい語句や、文の使い方、構成で文を書くことができていない。（適切な接続詞を使い、主語を補い、一文を二文に書きかえる問題）
 3 1. 5%の生徒が二文目の主語を書いていない。（通過率26.2%）

◇出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く【A3（二）】
 文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くことができていない。（正答率55.6%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

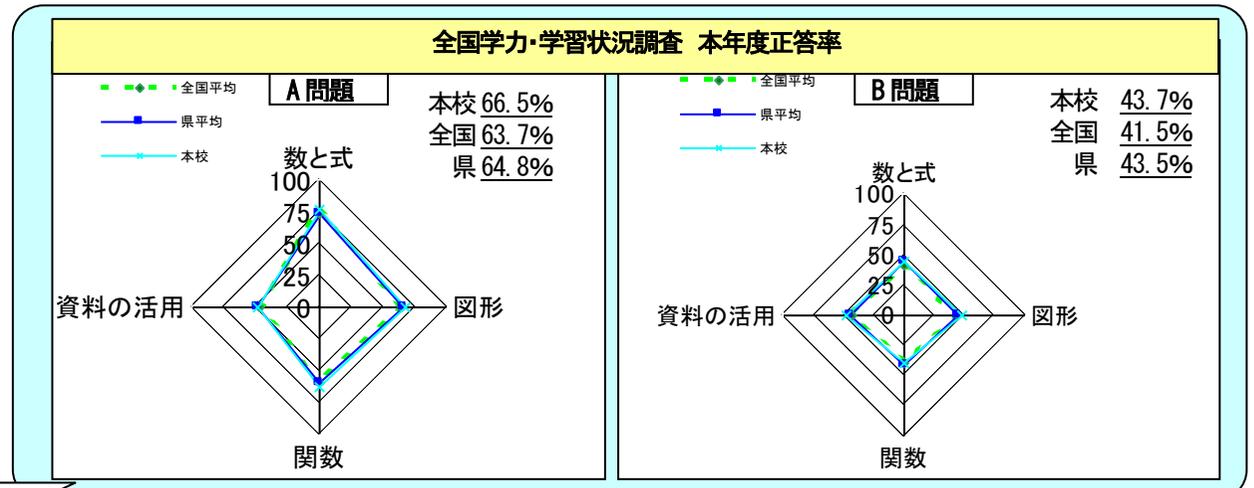
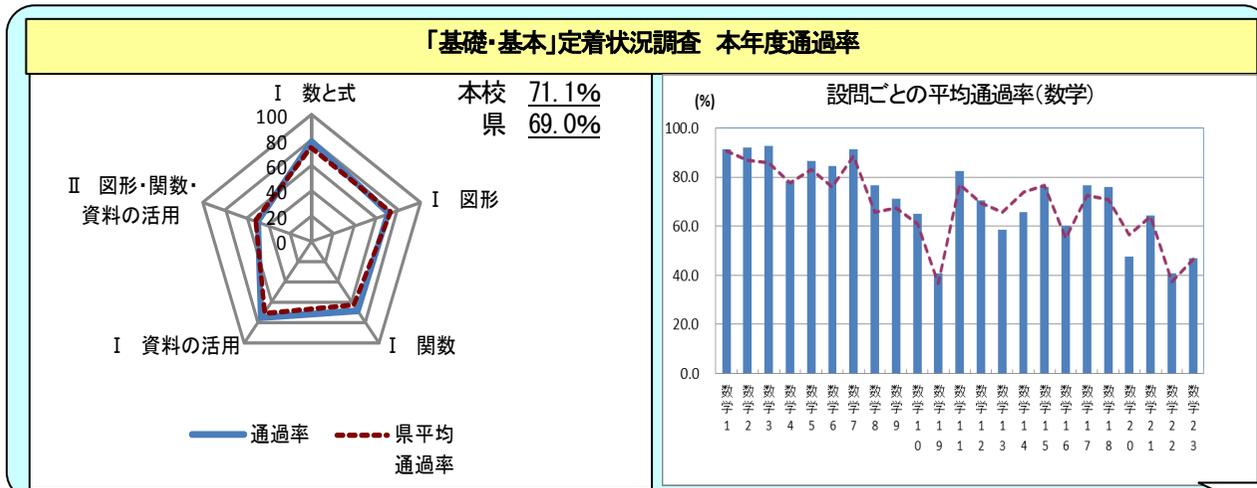
- ◎・文章読解等で主語を確認させ、発表時にも必ず主語を言わせる。
- ・主語に対応した述語を答える問題を行う。
- ・接続詞の働きや種類を復習し、特に説明的文章の中でどのように内容をつなげているか確認させる。
- ・単元に1回、また、定期テストで様々な条件の作文や問題に取り組み、問いや条件に線を引かせ、条件作文に慣れさせる。
- ・書かせたあと、条件に合っているか相互評価させる。

◇・自分が何を伝えたいのかをはっきりさせて書かせる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト	2年生 期末テスト		2年生 平成25「基礎・基本」	1年生 平成25「基礎・基本」	1・2年生 平成25「基礎・基本」
目標値		40.0%	50.0%		60.0%	55.0%	60.0% 65.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト	3年 期末テスト		2年生 H25「全国学力」		2年生 学年末テスト
目標値		60.0%	70.0%		50.0%		60.0%
実施後数値							

指導方法等の改善計画について〔数学〕



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ 複数の事象の統合【11(1)】
「図形」で、複数の問題を統合した問題ができていない。二等辺三角形や正三角形の特徴を正しく理解していない。(通過率40.9%)

◇ yがxの関数である事象を選ぶ【A9】
「数量関係」で、関数の定義である『xの値が決まれば、yの値がただ一つに決まる』ということが定着できていない。(正答率17.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

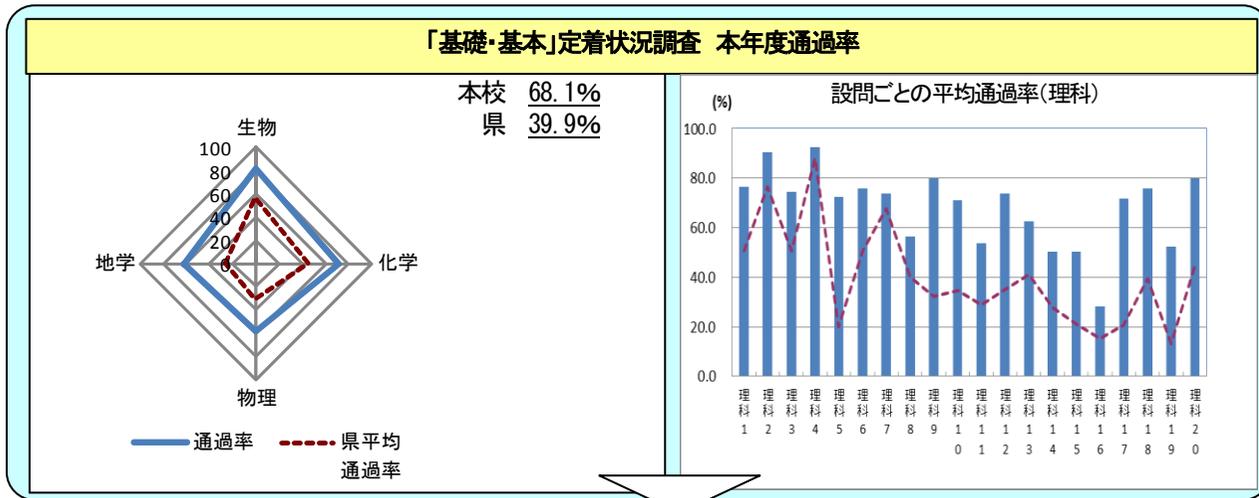
◎ ・作図の指導の際に、作図できる根拠を考えさせながら丁寧な指導を行う。

◇ ・1対1対応をしっかりと理解させるために、具体的な多くの事例をあげて説明する。
・具体的な数を入れて考えたり、図に書いてみたりするなどの思考を進める手段なども丁寧に指導する。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト		2年生 期末テスト		1年生 H25「基礎・基本」	1・2年生 学年末テスト
目標値		45.0%		50.0%		45.0%	50.0% 55.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト		3年生 期末テスト		2年生 H25「全国学力」	2年生 学年末テスト
目標値		30.0%		50.0%		25.0%	40.0%
実施後数値							

指導方法等の改善計画について〔理科〕



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎① 堆積岩の観察【7（1）】
示された図をもとに根拠をのべ、礫岩であることが示されていない。
(通過率28.2%)

◎② 実験結果から考察し結論を見いだす【6（3）】
実験の目的と照らし合わせながら条件統一の考察をすすめることや結論を導き出すことができていない
(通過率50.3%)

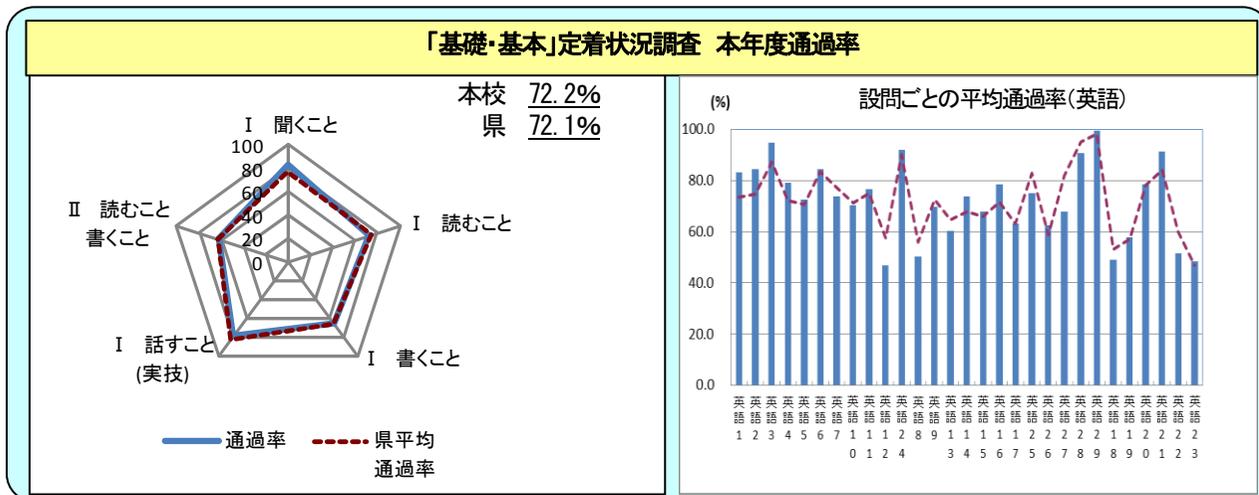
重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎① 観察において堆積岩の構成物の種類や大きさを意識させる指導を行う。
・発問の工夫
・ワークシートの工夫
・教材提示の工夫

◎② 実験の目的を明確にさせること。実験の目的をもとに仮説を設定する活動場面において、実験結果を予想させるとともに条件統一について述べさせる指導の工夫を図る。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2学年 中間試験		2学年 期末試験	1・2学年 休み明け試験		1・2学年 学年末試験
目標値		40.0%		50.0%	35.0% 60.0%		50.0% 70.0%
実施後数値							

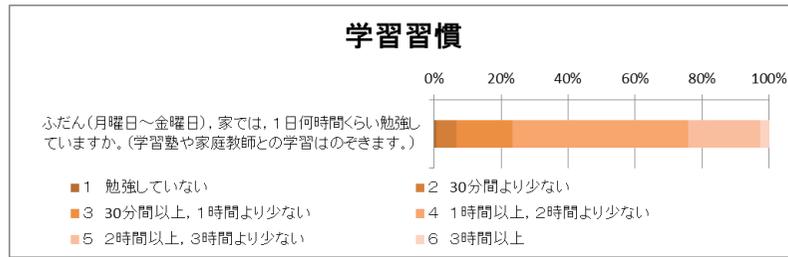
◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2学年 中間試験		2学年 期末試験	1・2学年 休み明け試験		1・2学年 学年末試験
目標値		55.0%		60.0%	55.0% 65.0%		65.0% 70.0%
実施後数値							



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査	重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）						
<p>◎① 「読むこと」話の流れの理解【7】 話の流れを理解し、英文を正しく並べかえる問題ができていない。 (通過率47.0%)</p> <p>◎② 「読むこと書くこと」資料や情報をもとに、自分の考えを伝える英文の文章を書くこと【12(3)】 情報をもとに第三者を5文で紹介する問題ができていない。 (通過率48.3%)</p>	<p>◎①・最初の英文を1文提示し、それに続く英文を順番を変えて何文か与え、つながりのある順番に並べ替える練習をさせる。 ・本文理解の際には、概要をつかませる発問を工夫し、話の流れをつかめるようにする。</p> <p>◎②・授業はじめに帯活動として、ペアで基本文のインプットを行い、小テスト、英語の毎日ノートなどでその定着をはかる。 ・基本文を応用して、自分自身のことや身近な人のことを表す英文を書かせるようにする。 ・「書くこと」において、「次のような場合英語で何と言うか」という条件を与え、自由に書く練習をさせる。 ・自己紹介、友達紹介、Show & Tell、日記などテーマを与え、まとまりのある英文を書く活動を学期に1回は行う。</p>						
◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト	2年生 期末テスト		1年生 学力向上対策事業 における調査問題	2年生 学力向上対策事業 における調査問題	1学年 学年末テスト
目標値		55.0%	60.0%		50.0%	70.0%	60.0%
実施後数値							
◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト	2年生 期末テスト		1年生 学力向上対策事業 における調査問題	2年生 学力向上対策事業 における調査問題	1学年 学年末テスト
目標値		55.0%	60.0%		50.0%	70.0%	60.0%
実施後数値							

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

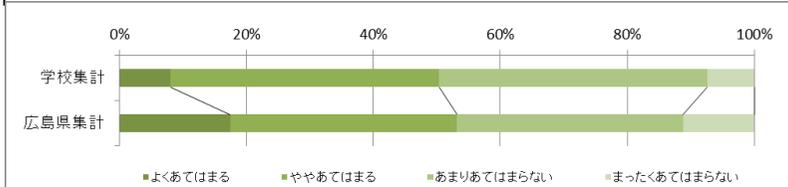
(1) 生活・学習



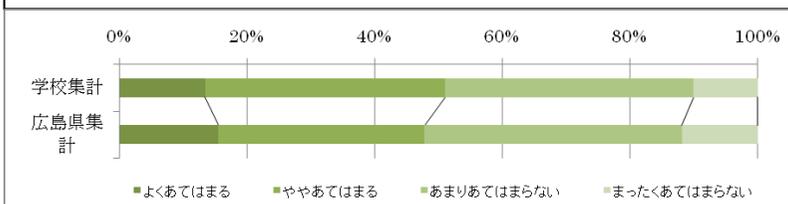
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	平日一日当たりの学習時間が1時間未満の生徒が22.5%である。	毎日の課題を提出させきる。 ・教科の宿題の内容の精選 ・自主学習ノートの量の増加	2	10.0	学習時間のアンケート	10月 12月 2月		
全国	平日一日当たりの学習時間が1時間未満の生徒が23.5%である。	毎日の課題を提出させきる。 ・教科の宿題の内容の精選 ・自主学習ノートの量の増加	3	10.0	学習時間のアンケート	10月 12月		

(2) 教科

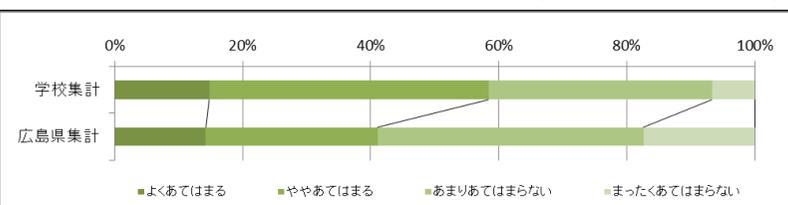
国語の授業で学んだことを、普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



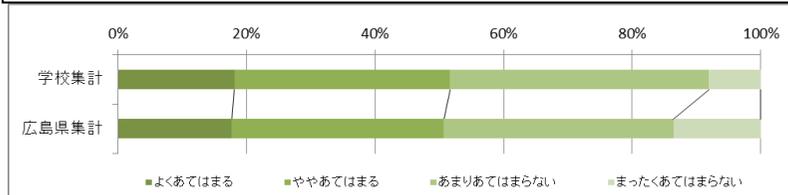
数学の授業では解き方や考え方を話し合う時に理由を挙げて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 国語の授業で学んだことを、普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。(50.3%)	・効果的な表現に着目させて比較したり、条件に従って書いたりする授業を行う。	2	55.0	国語生徒アンケート	12月		
	全国 古典は好きですか。(37.8%)	・音読を工夫したり、多くの古語に触れさせたりすることにより、古典の表現に慣れさせ、興味を持たせる。	3	50.0	国語生徒アンケート	12月		
数学	基礎・基本 数学の授業では解き方や考え方を話し合う時に理由を挙げて説明しています。(51.0%)	・問題を解くとき考え方や解き方、途中式をノートに書かせながら問題を解かせる。 ・解き直しの際、交流の場を設定する。	2	55.0	数学生徒アンケート	12月		
	全国 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。(63.6%)	数学を活用できる場面に着目させた授業を行う。	2	65.0	数学生徒アンケート	12月		
理科	基礎・基本 理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。(58.4%)	・観察・実験の際、予想場面の設定を工夫するとともに疑問の提示を図る場を設定する。 ・解き直しの際、交流の場を設定する。	2	65.0	理科学徒アンケート	12月		
英語	基礎・基本 英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。(51.7%)	英語を使って継続的に話せるように、chatや英語でのペア活動を積極的に取り入れ、つなぎ言葉を使いながら話す活動を取り入れる。	2	57.0	英語生徒アンケート	12月		